

りんご

放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペース

vol.
114

令和5年4月発行



～青森学習センター・八戸サテライトスペース学位記授与式と入学者のつどい～
(4月8日・4月9日撮影)

～本部学位記授与式～
(3月25日撮影)



祝卒業・入学／学生生活応援号



- 2 | 新任所長のご挨拶 石川 善朗 所長
- 3 | 退任のご挨拶
- 4 | 2022年度第2学期学位記授与式、
学生表彰、本部学位記授与式、卒業生のこぼ
- 6 | 2023年度第1学期入学者のつどい、
学生生活をスムーズに送るために

- 7 | “Professional Report” 今井 正浩 先生
- 8 | 2023年度第1学期 客員教員からのごあいさつ
- 10 | 各種学生団体のごあんない
〈青森同窓会・学友会・ミステリーサークル・サイコロサークル〉
- 11 | 4・5・6・7月のスケジュール
- 12 | 事務室からのお知らせ



放送大学青森学習センター
八戸サテライトスペース
Eメール: 青森@hokuryu.ac.jp
Web: www.hokuryu.ac.jp/aomori

新任所長のご挨拶

青森学習センター所長

石川 善朗



今期の冬は気温の上下がめまぐるしく、降雪もまた例年になく一度にドカ雪だったり、半分溶けてみたりとその繰り返しでした。これも気候温暖化の影響でしょうか。ようやく春がやってくる季節となりました。これからの新しい年度に向けて、ふさわしい年でありますようお願いいたします。

さて、新年度の4月より新しく放送大学青森学習センターの所長として着任いたしましたので、新任のご挨拶を兼ねまして簡単な自己紹介をさせていただきます。

東京都福生市に生まれ小平市で育ちました。私立の保育園から始まり、私立小学校、私立中高一貫校に学び、それぞれが独特の校風の中で最後の大学と大学院が国立でした。中高時代にオーディオと音楽鑑賞、映画鑑賞にはまり今でも続いています。オーディオの機器デザインに興味を持ち始めたのが今の専門につながっているかもしれません。

大学と大学院では、伝統工芸の手作りに興味を持ち漆工芸の専攻に入りました。そちらの関係から当時の青森県工業試験場（現：青森産業技術センター弘前工業研究所）漆工部に採用されて青森県に着任しました。そのうちに津軽塗のデザインから県内の工業デザイン全般を研究開発することになり、当時まだ新しかった2次元と3次元のコンピューターグラフィックス（以下CG）のデザイン開発を命ぜられて津軽塗のデザインから初めて産業デザインの3DCG開発を担当いたしました。なれないコンピューターに悪戦苦闘した思い出があります。産業デザインのために県から東京の中小企業大学校に派遣され、そこで立体デザインをコンピューターで行うことや色彩心理学の基礎なども学びました。手仕事の伝統工芸と、当時最先端の3DCGを組みあわせることの面白さを、今から30年ぐらい前から学べたのは大変幸いでした。18年間務めた後、弘前大学の教育学部美術教育講座を担当していた大学の先輩の退職に伴い公募に参加し採用されました。青森県職員から教育研究職に転身です。

大学ではプロダクトデザイン研究室に所属して、立体デザイン、工芸デザイン教育と県内企業の製品開発のお手伝いに15年間携わりました。その間の学生たちとの授業やゼミにおけるふれあいを通して、彼らの学習、研究、生活の手助けに微力ながら多少なりとも助力できたと自負しています。いつの間にか青森県に奉職し35年以上たちました。

これからは、放送大学においてもおそらく社会人が多いだろうと思われる皆さんと共に学ぶ意欲を大いに盛り上げて、今までの経験を生かしつつ一緒に学習して参りたいと思っています。よろしくお願いいたします。

石川所長による

学習相談・ゼミ

ごあんない

相談分野▶芸術学

相談日▶火～土曜（祝日を除く）

ゼミ▶『世界のアニメーションと日本のアニメ』

～比較文化の面から捉えると何が見える？～

指定の水曜14：30～15：30

※ゼミ開講日については、案内チラシをご覧ください。

※3月にお送りした案内チラシから、実施時間が変更になりました。

退任のご挨拶



前青森学習センター所長 浅野 清

放送大学の名前は弘前大学に赴任して間もなく耳にした記憶があります。本町地区に事務所が開設されるということでしたが、他人事として話を聞いていました。また、青森学習センターが文京町地区に移転してきてから 20 年近くなりますが、通勤などで 50 周年記念会館、コラボ弘大にある「放送大学」の看板前を歩いていたことが、今思うと不思議な縁を感じます。弘前大学を定年退職した翌年、2019 年 4 月に青森学習センター所長に就任し、放送大学についてやっと多くを知ることとなりました。

新しい職場に慣れてきたころ、たまたま見つけたドイツ語の検定試験に興味を湧き、自分のドイツ語力を試そうと受験しました。年齢が私と変わらない学生たちの勉学に励む姿が刺激になっていたのかもしれませんが、幸運にも中級に合格できましたが、更に上の級を目指すには文法の基礎が足りないことを痛感し、放送大学の選科履修生となって「ドイツ語Ⅰ」と「Ⅱ」で学びなおすことにしました。仕事をしながらの勉強は予想以上に大変でした。たった 1 科目でも毎日予習・復習するには体力も気力も追いつかない自分が恥ずかしく、改めて学生たちの勤勉さを見せつけられた思いです。

退任後のことはまだ決まっていますが、何か新しいことに挑戦していこうと思っています。どこかで皆さんとお会いすることがあると思いますが、その時には、どう自分の道を歩んでいるかお互いに報告しあいましょう。最後に、青森学習センターと八戸サテライトスペース所属の学生をはじめ、教職員の皆様の健康を祈念するとともに、これまでのご助力・ご協力に深く感謝申し上げて、私の挨拶とさせていただきます。4 年間、本当にありがとうございました。



「退職のご挨拶」

青森学習センター 相馬 純子

この数年は感染症の流行で、学習センターも制限や変更のある状況でしたが、そうなる前から、卒業を果たされた方々からの言葉や、ゼミ参加、面接授業の受講、または自習のため来所される皆さんの様子から、目的や熱意を持って放送大学に在籍し、学修に励んでいることを感じられることは嬉しく、やりがいをもって従事する 5 年間となりました。お会いした方、お世話になった方々に感謝申し上げます。



「退職のご挨拶」

青森学習センター 工藤 稚智

2018年4月より2023年3月までの5年間、図書・受付担当として勤務させていただきました。放送大学における図書の利用の案内や貸出の取次などの業務を通じて学生さんと接することも多くあり、微力ながら学生生活の支えになれたのなら嬉しく思います。

日ごろから温かく接してくださった皆さまとの思い出や、目標に向かって勉学に励む姿勢は、私のこれからの先行きにおいて糧となる良い刺激でもありました。

最後になりますが、放送大学で勤務する中で関わった皆さまに感謝いたしますと共に、益々のご活躍をお祈り申し上げます。長い間本当にお世話になりました。



2022年度第2学期学位記授与式

2022年度第2学期学位記授与式が、4月8日（土）青森学習センター、4月9日（日）八戸サテライトスペースにて行われました。今回、教養学部卒業を迎えた学生方は、青森SC・八戸SSをあわせて54名。式当日は出席者ひとりひとりに石川所長から学位記が授与されました。卒業生の皆様、このたびはおめでとうございます!!



青森学習センター



八戸サテライトスペース

2022年度第2学期 教養学部卒業生の内訳（青森SC計30名・八戸SS計24名）

青森SC 生活と福祉8名／心理と教育11名／社会と産業7名／人間と文化1名／情報2名／自然と環境1名

八戸SS 生活と福祉2名／心理と教育9名／社会と産業6名／人間と文化3名／情報2名／自然と環境2名

第13回放送大学青森学習センター学生表彰

青森SC・八戸SS所属学生の生涯学習に対する奨励を目的として、2014年度より「放送大学青森学習センター学生表彰」を行っています。今回は、青森SCの卒業生5名と八戸SSの卒業生3名が受賞者となり、長年にわたり学業に励んだ功績を称え、表彰状と記念品が授与されました。また、2名の卒業生が名誉学生の表彰も受けられました。



名誉学生表彰式も行われました



2022年度放送大学学位記授与式

3月25日、東京・NHKホールにて2022年度放送大学学位記授与式が行われ、全国から集まった2022年度第1学期・第2学期の卒業生・修了生が式に臨みました。青森SC・八戸SSをはじめ、全国の卒業生・修了生の皆様、おめでとうございます!!

卒業生のことば

「達成感のある卒業」

青森SC 社会と産業コース 新谷 恵美子

放送大学の学生になって早12年、4回目の卒業です。

毎回、色々な事がありましたが、今回最後の単位修得が本当に大変でした。

2学期が始まってすぐ、東京で夫が救急搬送、突然の長期入院。年明けすぐ、弘前で義母が夜中に救急搬送、緊急手術後入院。

何度も東京と弘前を往復する事になり、ゼミもそば打ちも参加できず、勉強もなかなかできませんでした。落ち着いて勉強できたのは、移動の新幹線の中だけでした。

精神的にも肉体的にも大変でしたが、とても達成感のある卒業になりました。

「教養を深めるために」

青森 SC 生活と福祉コース 伊藤 昭雄

3 回目の卒業です。2017 年 3 月人間と文化コース、2021 年 3 月自然と環境コース、今年 3 月生活と福祉コース。興味深かった科目は、2021 年度 2 学期の「精神疾患とその治療（'20）」。1900（明治 33）年、精神病者監護法が制定された。家族の責任で精神障害者の私宅監置を行うよう定めた法律で、江戸時代より存在した座敷牢の合法化である。これを厳しく批判し、法制度の改善を主張したのが東京帝大教授で東京府巣鴨病院長の呉秀三。私が尊敬してやまない森田療法創始者の森田正馬が門下生であるのは知っていたが、呉の業績は知らなかった。森田の師の偉大さに圧倒された。今後も読書と併行して学び続け、名誉学生を目指したい。

「学びある生活に感謝」

八戸 SS 心理と教育コース 川原 健也

時間と場所に縛られることなく、自由度の高い学びが得られることに魅力を感じ、放送大学へ入学。あれから 4 年、この度、卒業を迎えることができました。在学中はマイペースに無理のないよう学習することを心がけることで、仕事と学習の両立ができ、充実した学生生活を送ることができました。卒業にともない、私の学習は一つの区切りを迎えますが、放送大学で得られた学ぶことの喜びは、いつになっても忘れずにいたいと思っております。

「やっと卒業しました」

八戸 SS 人間と文化コース 飯田 照次

還暦に、老後は充実した日々を過ごしたいとの思いから、家族に「大学生になる」と宣言して入学しました。しかし「言うは易く行うは難し」の学生生活でした。英語が厚い壁でした。結局、単位すべて面接授業で取得しました。大学では何かに特化して学ぶ事が本来の型と思いますが、私は過去問題の平均点の高い教科を優先的に選択しました。面接授業は楽しかったです。教授からの指導には現役大学生を実感しました。岩手大学へは北上川のほとりを「北上夜曲」を口ずさみながら通いました。思い出深いです。古希が過ぎて 3 年、やっと卒業しました。長く在籍した分、感激も一入です。これ偏に八戸サテライトスペースの皆様のお陰であります。

「旅立ち」

青森 SC 情報コース 山口 一春

面接授業で、10 日足らずで、21 世紀になると聞いたのは、20 年前、岩手学習センターの面接授業でした。それから 7 回目の卒業で、名誉学生表彰までできました。21 世紀の旅立ちまでできました。もう、21 世紀になったのかと、思いました。講義テーマは、プレゼンテーションで、心と心のふれあいでした。

「ありがとう放送大学」

青森 SC 心理と教育コース 奥田 真理

卒業を迎えられて嬉しいです。入学のきっかけは、心理学の知識をさらに深めたいと思い入学を決めました。勉強に関して自信はなかったのですが、授業が動画にまとめられてあるので繰り返し視聴できる事が最大の強みだと思います。さらにスマートフォンがあればどこでも学習でき子育て中でも隙間時間を利用して無理なく学べました。生活の中にも放送大学で学んだ事が生きる場面があり、今後もこの経験を糧に日々努力したいと思います。

「次は何を学ぼうか？！」

青森 SC 心理と教育コース 坂本 雅子

大卒資格が欲しい！
家庭の事情で進学を断念した日から二十数年。諦めきれず、仕事をしながらでもマイペースで学べ、学費を抑えられる放送大学に入学したのは、今からちょうど十年前。少しでも興味がある内容ならば続けられるだろうと、心理と教育コースを選択。フルタイムで働きながら卒業できるだろうかという不安が、もっと学び続けたいという思いに変わるまで、時間はかからなかった。
早速、再入学の手続きをした。当初の目標は達成したが、興味は尽きない。目標はなくても続けられる自信はある。放送大学での学びは、私の生活の一部になった。

「夢にまで見た卒業」

青森 SC 心理と教育コース 近藤 悟

仕事をしながら学習すると決意した自分でしたが、これほど大変だとは思ってもいなかった気がします。自分のペースで学習を進めて行くと卒業まで、何年もかかることに気が付き、そこから学習の時間を増やして頑張った自分がいます。協力をしてくれた家族に感謝の気持ちで一杯です「ありがとう」。

卒業生の皆様、おめでとうございます!! 皆様の晴れやかな姿が、のちに続く学生方においても励みになることでしょう!!



2023年度第1学期入学者のつどい

4月8日（土）と4月9日（日）の両日、青森学習センターと八戸サテライトスペースにて「2023年度第1学期入学者のつどい」が行われました。

放送大学学歌演奏や学長挨拶の上映、センター所長式辞、入学生と在学生代表の挨拶、校友会会長祝辞、教職員紹介のほか、オリエンテーションや施設見学などを行いました。



(上) 在学生の
歓迎のこたば
(左下) 校友会会長の祝辞
(右下) 客員教員の挨拶

4/8（土） 青森SC



(上) 入学生の挨拶
(左下) 在学生の
歓迎のこたば
(右下) 客員教員の挨拶

4/9（日） 八戸SS



全学生必見！ 学生生活をスムーズに送るために

新学期を迎え、これから放送大学での学習を始める入学生・在学生の方へのお知らせです。

■活用しよう「学生生活の栞」と「利用の手引き」

「学生生活の栞」と「利用の手引き」は、履修に関するきまりや、各種届出様式など、学生生活を送るうえで重要な事項が満載の冊子です。大切に保管のうえ、よく読んでご活用ください。

■システム WAKABA のパスワード変更はお早めに

システム WAKABA に初期パスワードでログインし、ホーム画面左側にある「パスワード変更」で、初期パスワードから変更をしていただくようお願いいたします。ログインできない場合は、お問合せください。

■学生証の受取

学生証は、図書室・視聴学習室の利用や面接授業の追加登録申請、単位認定試験を受験する際（「学習センター受験」の場合）に使用します。

青森学習センター・八戸サテライトスペースの事務室窓口で交付いたします。新規入学・継続入学生は入学許可書を、在 student で学生証の有効期限切れの方は有効期限切れ学生証を窓口へご持参ください。郵送を希望する方はお問合せください。なお、顔写真を登録していない場合は発行ができませんので、システム WAKABA の「学生カルテ」または「学生生活の栞」巻末様式の「写真票」使用にて速やかに登録してください。

■学生教育研究災害傷害保険〈学研災〉への申込み ※任意

教育活動中や通学中における事故補償のための保険です。放送大学は通信教育に区分されており、保険料は100円、通学中の特約を含む場合は140円となります。保険期間は、入学後から学籍が続く限り最大6年間となります。ただし、加入日にかかわらず、4月入学者の保険終期は3月31日に、10月入学者の保険終期は9月30日になりますのでご注意ください。

詳細につきましては、入学生の方は先に送付の『「学研災」のご案内』にてご確認ください。



Professional Report

西洋古典学の研究対象としての西洋古代医学（2）

客員教員 今井 正浩

（弘前大学人文社会科学部・人文社会科学研究科教授）

西洋古代医学の研究を進めていくには、同時代の哲学や古代ギリシア・ローマ歴史文化全般に対しても、相応の専門的見識を持っている必要があります。事実、西洋古代の医学と同時代の哲学との影響関係は、わたしたちが想像する以上に深甚でした。医学者たちと同時代の哲学者たちが同じ問題をめぐって、激しい論争を繰り広げるということも少なくありませんでした。

その一つが、ヒトの感情や思考の座にあたる体の器官をめぐる論争です。

「医学の父」ヒポクラテスは、ヒトの感情や思考の座にあたる体の器官として脳を明確に位置付けるという立場を表明します（『神聖病について』）。ところが、かれの脳中心主義に対しては、アリストテレス（384-322 BC）が、脳ではなく、心臓をヒトの体の中枢にあたるものとして位置づけるという、心臓中心主義の立場を明確にします。一方、脳というのは、アリストテレスによれば、心臓の過剰な熱を冷ますための冷却器にすぎないというわけです（『動物の発生について』）。アリストテレスの心臓中心主義に立った人体観は、ヘロピロス（c.330-c.250 BC）やエラシストラトス（c.320-c.240 BC）に代表されるアレクサンドリアの医学者たちによる神経系組織の発見、脳と構造と機能の解明等によって、人体の理解が飛躍的に進展していった時代においても、一定の支持者たち（たとえば、ストア派）を集めていたという事実があります。

アリストテレスほどの大哲学者が、ヒトの感情や思考の座にあたる体の器官について誤った見解に立っていたというのは、たしかに驚きです。けれども、ここで重要なことは、現代人の目から見れば不可解に思えることであっても「アリストテレスがそのように考えた」ということには、やはりそれ相応の理由が存在するということです。そして、その理由と背景を明らかにしていくことこそが、実は「真の事実理解」であって、西洋古典学の研究対象として西洋古代医学を位置づけた上で研究を進めていくことの意義であり、また醍醐味でもあります。

西洋古典学という学問が持つ、このような意義と醍醐味を、青森学習センターの一人でも多くの学生諸君と共有することができたなら、わたしとしては、これに代わる喜びはありません。

★ “Professional Report” は、青森学習センターと八戸サテライトスペースの客員教員が、専門分野について2回ずつ連載していくコーナーです。

★今井正浩先生は、青森学習センターでゼミを開講しております。途中からでも大丈夫ですので、ぜひご参加ください。

★今井先生ゼミ

「ギリシア哲学入門：プラトン『クリトン』篇を読む」

※ゼミ開講日については、案内チラシをご覧ください。

2023年度第1学期 客員教員からのごあいさつ



●青森学習センター

■ゼミは青森学習センター講義室で行います

火

一條 健司 先生

弘前大学大学院理工学研究科 准教授



相談分野：情報工学

相談日：火曜日10:00～12:00

ゼミ：「コンピュータ科学入門」

指定の火曜日10:30～11:30

※教科書指定 1冊あり

弘前大学大学院理工学研究科の一條と申します。専門は情報工学です。特に再構成可能デバイスを活用したコンピュータシステムの設計・開発に関する研究を行っています。

コンピュータや情報通信技術の基本原理について、これらの技術の歴史的背景も意識しながら、ご興味をお持ちの方と一緒に学びたいと思います。

火

今井 正浩 先生

弘前大学人文社会科学部 教授



相談分野：西洋古典学、
古典ギリシア語・ラテン語

相談日：火曜日12:30～14:30

ゼミ：「ギリシア哲学入門：プラトン『クリトン』篇を読む」

指定の火曜日13:00～14:00

※教科書指定 1冊あり

弘前大学人文社会科学部の今井と申します。弘前大学では、西洋古典学(古代ギリシア・ローマ時代の歴史、社会、文化、思想等について専門に研究する学問)、古典ギリシア語・ラテン語の授業等を担当しています。昨年度に引き続き、放送大学青森学習センター客員教員として、学習相談・ゼミナールを担当します。どうぞ、よろしくお願いします。

ゼミナールでは、古代ギリシアの代表的な哲学者の一人、ソクラテスに焦点をあて、彼の生涯と死が、現代に生きるわたしたちにとってどのような意義を持つかを、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

火

戸塚 学 先生

弘前大学教育学部 教授



相談分野：健康科学

相談日：火曜日14:50～16:50

ゼミ：「健康とスポーツの科学の理論と実際」

指定の火曜日15:50～16:50

※教科書指定 1冊あり

弘前大学教育学部の戸塚です。大学では、将来、主に小学校や中学校・高等学校の保健体育の教員を目指す学生を対象に、「運動と健康」「生理学・運動生理学」「体づくりの運動」等の授業を担当しております。

ゼミでは、スポーツ・健康科学的な視点から、安全かつ効率的に健康長寿を具現化するため、スポーツや運動をする上での正しい知識の習得とその理解の深化を図ります。今年度は教科書を用い、体系的かつ科学的にヘルスリテラシーのブラッシュアップを図ります。

木

田名場 忍 先生

弘前大学教育学部 教授



相談分野：社会心理学・臨床心理学

相談日：指定の木曜日9:45～11:45

ゼミ：「質問紙調査による心理学研究に向けて」

指定の木曜日10:15～11:15

※教科書指定なし

弘前大学教育学部では、「社会心理学」等の授業を担当しています。これまで主に対人認知の研究を行い、臨床心理士としてスクール・カウンセラー等の活動もしてきました。

ゼミでは、心理学の研究手法から質問紙調査を取り上げ、その特徴や留意点について考えます。さらに質問項目や尺度を作成して、質問紙調査を行い、結果の分析を目指します。こうした心理学研究の実際を学びながら、人の意識や行動の研究には何が必要で大切なのか、皆さんと一緒に考えたいと思います。

●ゼミ・学習相談は、事務室窓口または電話にて申込みを受付します。①氏名、②連絡先、③ゼミ名または相談日をお知らせください。●ゼミの日程は、都合により変更・中止となる場合もあります。学習センター・サテライトスペース内掲示板や学習センターウェブサイトを確認できない場合は、お電話にてお問い合わせください。また、不測の事態発生の際には、ゼミ・学習相談をオンライン会議形式 (Zoom 等) へ変更する場合があります。

木 北嶋 結 先生

弘前大学大学院保健学研究科 助教



相談分野：在宅看護学、老年看護学
相談日：木曜日16:00～18:00

ゼミ：「ACP からつなく地域包括ケアシステムの構築」
指定の木曜日16:30～17:30
※教科書指定なし

保健学研究科の北嶋結と申します。専門は地域・在宅看護学、老年看護学で、地域で生活されている人々が疾患を抱えながらも自分らしく生活を送ることができるよう支援を検討しています。ゼミでは「ACP からつなく地域包括ケアシステムの構築」に向けて、ACP や地域包括ケアシステムの理解を深めていきます。そのうえで、これからどう生活していきたいのか、そのためにどのような地域づくりがよいのか、一人ひとり何ができるのかをみなさんと一緒に楽しく考えていきたいと思っています。

金 成田 拓未 先生

弘前大学農学生命科学部 准教授



相談分野：農業経済学
相談日：金曜日9:50～11:50

ゼミ：「農業のブラックボックスを看破する」
指定の金曜日10:20～11:20
※教科書指定 1冊あり

弘前大学農学生命科学部の成田拓未と申します。専門分野は農業経済学で、りんごを中心に、果実、青果物、その加工品の流通とマーケティングを研究しています。

農業とその関連産業は、今日地球規模で複雑さを増し、農場と食卓の距離はますます遠ざかっています。本ゼミでは、テキストをゆっくり読みながら、ブラックボックス化する農業とその関連産業の内部を見ていきます。



●八戸サテライトスペース

■ユートリー 4 階で行います (会場は、各ゼミ日にサテライト事務室でご確認ください)

水 山本 忠 先生

八戸工業大学 前基礎教育研究センター 教授



相談分野：中国語学
相談日：水曜日13:30～15:30

ゼミ：「南部方言を中国語で表現」
指定の水曜日14:00～15:00
※教科書指定なし

八戸 SS で学習相談とゼミを担当することになりました山本忠です。私は、中国語とは小学生の時テレビ講座で勉強を始めてからのお付き合いになります。90年代半ばに中国瀋陽市の大学で1年間日本語教師を務めた経験があります。

ゼミは、間違いを恐れず、リラックスした雰囲気に進めたいと希望しています。どうぞよろしくお願い致します。

金 山本 雄大 先生

八戸学院大学健康医療学部 准教授



相談分野：社会心理学
相談日：金曜日14:00～16:00

ゼミ：「行動の背後にある「心理過程」を理解する」
指定の金曜日15:00～16:00
※教科書指定なし

山本雄大です。心理学には教科書の中で必ず取り上げられる有名な理論がいくつかありますが、それらがどのような背景のもとで、どのように研究され、どのような結論が出たかを詳しく知っているという人は少ないかと思います。そこで、ゼミでは、それらの研究を理解するための事前講義を行った上で原典資料にも目を通し、その知見が何を意味するのかなど皆さんと議論をしていきたいと思っています。

●案内チラシや各ゼミのシラバスを、学習センター・サテライトスペースで配布しているほか、学習センターウェブサイトでも公開しております。●ゼミは学期途中からでも参加できます。単位にはなりませんが、客員の先生や他の学生たちと学べる良い機会です。お気軽にご参加ください。

学生生活をもっと楽しく！各種学生団体のごあんない

★入会ご希望の方は、青森学習センターまたは八戸サテライトスペースへお問い合わせください。

★**学生団体の設立について** 学生が研究やスポーツなどのため、学生団体（サークル）を結成しようとするときには、学生の中から責任者を定め、「学生団体結成願」等の必要書類を4月または10月に責任者が所属する学習センターへ提出し、設立の許可を受ける必要があります（「学生生活の栞」教養学部版 P114参照）。詳細については、青森学習センター事務局へお問い合わせください。



青森同窓会

「青森同窓会から ～同窓会活動の充実に向けて～」

青森同窓会会長 関川 宏明

この3年間、新型コロナウイルス感染拡大防止の点から、行事の縮小や中止を余儀なくされておりましたが、今年度は、感染対策に配慮しながら、例年どおり行事を実施できればと考えております。

今年度は、5月に八戸市での定例総会を予定しているほか、4月と10月には卒業式後の祝賀会を青森学習センターと八戸サテライトスペースで行います。また、9月には、北海道と東北の各同窓会で持ち回り開催している「東北・北海道ブロック同窓会交流会」が八戸市で開催予定です。平成27年に弘前市で開催された際も大変有意義な交流会であったことから、今回も、他県同窓会との交流はもとより、青森学習センター・八戸サテライトスペース所属の在学生・同窓生同士の交流の場にもなることを期待し、準備を進めております。



卒業式後の祝賀会



学友会

「学友会を人と人のつながり・情報交換の場所に!!」

学友会会長 田澤 豊

コロナ感染症も2類→5類へと決定、マスク着用も自由となり、社会活動が緩和されつつあります。センターのHPや、事務局にお願いしてメールでも案内しておりましたが、学友会もR4後期から予防対策をして徐々に活動を再開しております。以前、開催しておりました春の「観桜会」も再開、また、秋に「そば打ち」など、年に数回の親睦と情報交換の集まりを開催予定としております。今後は、3密防止などのコロナ対策をしながら、活動を考えております。コミュニケーションの取り方が、リモートなど今は、多種多様になりましたが、学校は人と人のつながりを学ぶところでもあります。基本は、直接「顔と顔を合わせる事」ではないでしょうか。

学生の皆様には、学友会に参加し、情報・学習方法の交換・息抜き方法を見つけ、人と人のつながりの交流の場としませんか。是非、入会をお願いします。申込受付は、センター事務局にお願いしております。



「そば打ち」体験会の様子



ミステリーサークル

「ミステリーサークル・会員募集中!」

ミステリーサークル総長 上野 光弘

ミステリーサークルは、学生相互の研鑽、親睦と交流を目的に活動しています。会費は無料です。学習相談も実施しております。入会したい方は、サテライト事務までご連絡下さい。

時期は未定ですが今年度も文化祭を実施する予定です。

いつものアカデミックカフェやマジックショー、こだわりのコーヒーのほか、新企画のものも考えています。

文化祭に展示したい写真や絵画、趣味で作成している発表したいものなどありましたら、ご連絡ください。

月に一回ペースで部屋を確保し、マジックレクチャーや学習の進捗状況の確認などの情報交換をし、交流しています。ぜひ一度遊びにいらしてもらえたらと思います。



文化祭の写真展



サイコロサークル

「サイコロサークル活動レポート」

2022年度2学期では、違った学習環境に浸ってみたいと先生にお願いして弘前医療福祉大学短期大学部で教育内容や施設設備を研修しました。

特に感心したのは、学生さんからしっかり目を合わせてはっきりした声であいさつしていただいたことです。礼儀正しさやはたらつとしたエネルギーを感じます。「人の役に立ちたい」との強い思いから、介護福祉士、救急救命士、歯科衛生士、調理師を目指し努力する学生さんたちの熱い青春に触れたように思います。

これからも、学生さんの希望などを踏まえた企画を行っていきます。

是非、サークルに参加いただきたいと思います。遠方にお住まいで参加しにくいと思われる方は、ネット環境も整備中ですので、ご相談ください。



研修先の弘前医療福祉短大

4月・5月・6月・7月のスケジュール

■ 閉所日
 ■ 面接授業
 ■ 試験
 ■ 通信指導提出締切

	月	火	水	木	金	土	日
4月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30

	月	火	水	木	金	土	日
5月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

	月	火	水	木	金	土	日
6月				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30		

	月	火	水	木	金	土	日
7月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

重要

●2023年度第1学期の単位認定試験は、Web受験方式（一部科目については郵送受験方式）にて実施いたします。●自宅等で受験できない方は、事前に申請【申請期間4/1（土）～5/24（水）必着】することにより学習センター・サテライトスペースでWeb受験をすることができます。

4月

- 8日（土）：2022年度第2学期学位記授与式・
2023年度第1学期入学者のつどい（青森）
 9日（日）：2022年度第2学期学位記授与式・
2023年度第1学期入学者のつどい（八戸）
 15日（土）：2023年度第1学期面接授業
【12時】空席発表・追加登録事前申請受付開始 《～4/19》
 20日（木）：2023年度第1学期面接授業
追加登録先着申請受付開始 《～各科目の受付期限日》

●定員に余裕のある科目は、面接授業追加登録を受付中です。空席状況・受付期限等の詳細は、青森SC・八戸SSへお問い合わせください。●不測の事態により対面の面接授業が開講できない場合は、科目によって、Web授業または閉講のいずれかへ変更となります。詳しくはシラバス等をご確認ください。

面接授業

22～23日：「性の多様性と偏見・差別」（青森）
：「地域における子育て支援の現状」（八戸）

5月

- 1日（月）：2023年度夏季集中科目履修生（司書教諭）
出願郵送受付開始 《～5/31本部必着》
 9日（火）：2023年度第1学期通信指導提出受付開始【Web】
 16日（火）：2023年度第1学期通信指導提出受付開始【郵送】
 24日（水）：2023年度第1学期単位認定試験学習センター受験申請締切
 30日（火）：2023年度第1学期通信指導提出締切
《Webは17時まで／郵送本部必着》

募集中です！

面接授業

6～7日：「ギリシア神話における神と人間」（青森）
 20～21日：「やさしい韓国語と韓国文化」（八戸）
 27～28日：「心理学実験3」（青森）
：「心理学実験1」（八戸）

6月

- 4日（日）：卒業研究ガイダンス（青森）
 10日（土）：2023年度第2学期出願受付開始（Web・郵送）
《～9/12 教養学部、大学院修士選科生・修士科目生》

面接授業

3～4日：「明日の健康と予防への取り組み方」（青森）
：「高齢者の健やかな暮らしを考える」（八戸）
 10～11日：「近代青森のあゆみと暮らし」（青森）
：「環境問題に対する化け学の役割」（八戸）
 17～18日：「戦争と平和－その法と歴史」（青森）
：「発掘が語る縄文文化」（青森）
：「環境と生物－種差海岸で考える－」（八戸）
 24～25日：「技術変革と私たちの生活」（青森）
：「コミュニケーション学入門」（八戸）

7月

- 15日（土）～25日（火）：2023年度第1学期単位認定試験
 27日（木）：八戸サテライトスペース臨時閉所日

面接授業

1～2日：「政治学の基礎」（青森）
 8～9日：「白神学－白神の動物と植物」（青森）
：「ものの表面の科学」（八戸）



事務室からのお知らせ



各種スケジュール（ゼミ・その他行事）は、新型コロナウイルス感染症の状況により、中止または延期となる場合があります。決定し次第、青森学習センターウェブサイトでお知らせし、学習センター・サテライトスペースへ掲示いたします。ウェブサイト等を確認できない場合は、電話でお問い合わせください。（面接授業は受講者へ個別に連絡いたします。）

★ 利用時間変更のお知らせ 〈2023年4月から〉 ★

青森学習センターの図書室・視聴学習室と学生控室の利用時間が2023年4月から変わりました

◆利用時間 **9:30～17:00**

通信指導を提出しましょう（詳細「学生生活の栞」教養学部版P62、大学院版P64参照）

通信指導を提出し、合格して初めて単位認定試験の受験資格が得られます。未提出あるいは提出期限までに到着しなかった場合は評価の対象とはならず、単位認定試験が受けられませんので、余裕を持って提出してください。5/9までに通信指導問題が届かない場合は、大学本部（総合受付 TEL:043-276-5111）に連絡してください。

★提出期間★

- ・「Web 通信指導」の場合…5/9（火）10:00～5/30（火）17:00
- ・郵送の場合…5/16（火）～5/30（火）※大学本部必着



再視聴施設をご利用ください

学習センターやサテライトスペースのほかにも、放送授業を再視聴できる施設を設けています。青森県内には、青森市の青森市民図書館内「青森学習センターあおもり校」、むつ市のむつ市立図書館内「青森学習センターむつ校」があります。お近くにお住まいの方は是非ご利用ください。詳細については学習センター・サテライトスペース「利用の手引き」をご確認ください。

職員の紹介



【青森学習センター】

センター所長：石川 善朗
事務長：工藤 弘文
総務主任：乗田 朋宏
総務担当：木村 比査子

教務主任：中村 勝之
教務担当：比内 尚子
教務担当：福田 湖雪
受付・図書担当：煤田 紗夜香



【八戸サテライトスペース】

総括主任：今井 裕一
受付・図書担当：小笠原 真弓
受付・図書担当：小笠原 映子

よろしくお願いいたします!!

御意見箱

「御意見箱」は、学生さんが学習センター・サテライトスペースを利用の際に不便に感じていること、施設への要望などについて、書面で伝えることができる投書箱です。投書されたものは先ず所長が読んで検討し、必要があれば他の職員に内容を伝えて協議します。

是非活用してみてください。名前と学生番号を忘れずに書いてください。

青森学習センター学生控室と八戸サテライトスペース室内に置いてあります。



青森学習センター

〒036-8561 青森県弘前市文京町3 コラボ弘大7階

TEL: 0172-38-0500 FAX: 0172-38-1299 Twitter: @aomoricenter

八戸サテライトスペース

〒039-1102 青森県八戸市一番町1-9-22 ユートリー4階

TEL: 0178-70-1663 FAX: 0178-70-1667

青森学習センターむつ校

〒035-0073 青森県むつ市中央2-3-10 むつ市立図書館内

TEL: 0175-28-3500 FAX: 0175-28-3400（※視聴・貸出のみ対応）

青森学習センターあおもり校

〒030-0801 青森県青森市新町1-3-7 青森市民図書館内（アウガ8階）

TEL: 017-776-2455 FAX: 017-776-2400（※視聴・貸出のみ対応）

放送大学ウェブサイト <https://www.ouj.ac.jp/>

青森学習センターウェブサイト <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/aomori/>

